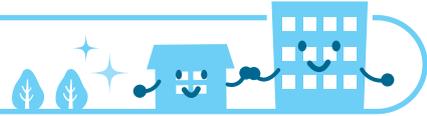


新子安地区・子安通1丁目地区・入江地区・浦島丘地区 【新子安地域ケアプラザエリア】

地域の特性



(1) データで見る地域の概要

エリアの高齢化率は、区平均よりも低く、0～6歳人口比率はやや高くなっています。これは、エリア内で最大の人口を有する新子安地区の高齢化率が区平均よりも6ポイント以上低く、0～6歳人口比率が21連合中2番目に高いことによります。入江地区と浦島丘地区の高齢化率と0～6歳人口比率は区平均と近い値ですが、子安通1丁目地区では65歳以上人口比率、75歳以上人口比率とも21連合中一番高く、0～6歳人口比率は低くなっています。

エリアの世帯数は平成15年比で20年は12.1%増と急増し、自治会町内会加入世帯数は減っています(平成20年は15年より1.9%減)。

新子安駅前には市街地再開発により商業施設や医療機関、事務所、共同住宅が整備され、施設内の地域ケアプラザは、福祉保健活動や地域交流の拠点として活用されています。

また、古くから市街化が進んだ子安通1丁目地区などでは木造住宅が密集しており、防災上の課題となっています。エリア内には4つの学校があり(浦島小学校、子安小学校、浅野中学校、浅野高校)、浦島丘中学校がエリアに隣接しています。

基礎数値(人口、世帯、高齢化率等)

(平成21年3月末現在)

地区名	人口(人)	世帯数	0～6歳人口比率(%)	65歳以上人口比率(%)	75歳以上人口比率(%)	単身世帯比率(%)	
						65歳以上	75歳以上
新子安	11,866	6,290	7.6	12.5	5.6	6.3	3.4
子安通1丁目	2,149	1,203	4.1	25.8	13.0	12.7	7.1
入江	5,092	2,487	5.4	18.4	8.9	11.7	6.6
浦島丘	1,434	668	6.2	18.7	8.0	13.3	6.9
4地区合計	20,541	10,648	6.6	15.8	7.4	8.8	4.8
神奈川区全体	227,164	113,856	5.8	18.8	8.7	10.7	6.2

(2) 行われている主な活動

- ◆ 高齢者を対象とした会食会や、親子のたまり場「すくすく子がめ隊」などが開催されています。
- ◆ 各地区で地域まつりなどの地域交流行事が行われています。
- ◆ 子どもの安全を守る通学路防犯パトロールが行われています。
- ◆ 新子安地区、子安通1丁目地区、入江地区では、災害時に避難場所として事業所施設や重機等の提供、従業員の派遣などを受けることができる防災協定を近隣の企業と結んでいます。
- ◆ 子安通1丁目地区社会福祉協議会では地域福祉活動計画の策定(平成19年3月)を行い、計画に基づいて活動しています。

(3) 地域の課題

【1】住民間交流と担い手の不足

地域まつりやスポーツなどの地域交流行事が行われていますが、転入者が多く、世帯数が急激に増加している地区では、自治会町内会加入世帯数の低下などにより、住民相互の交流が行われにくくなっています。このため、新たな活動の担い手を増やし地域活動を活性化させることや、地域ルール・マナーの共有化が難しくなっています。

【2】災害時の要援護者支援

地域では高齢者や障害者への見守り活動が行われていますが、防災上の課題が生じている古くからの密集住宅市街地では、住民の高齢化で災害時に支援を要する人が増加しているなど、要援護者の支援体制が課題となっています。

地区ごとの「重点課題」と「取組」

新子安地区

重点課題①: マンション・アパート住民と自治会町内会との交流の促進

すぐに
取り組む
こと

〔自治会町内会、マンション等管理組合〕

- マンション住民に町内の情報を知らせる回覧・チラシを配布したり、掲示板へ掲示します。
- 町内の清掃（道路、公園）、防災訓練、防犯パトロールなどの地域活動の機会を通じて引き続き顔合わせの場をつくります。
- 自治会町内会主催行事（バス旅行等）の参加をマンション・アパートの住民に働きかけます。
- マンション主催の交流会に自治会町内会が参加し相互交流を図ります。
- マンション・アパートの代表と自治会町内会代表との話し合いを定期的に行うなど、相互に理解できるように努めます。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔マンション住民、子ども会、生徒会〕

- 男性の参加が少ないので、町内清掃等の終了後にバーベキュー等男性が参加しやすい行事を企画します。また、餅つき大会やお花見など父親や幼児も参加しやすい企画を考えます。
- 実施場所が課題となっていますが、花火大会の開催を子どもの保護者の協力を得て検討します。

重点課題②: 活動に参加しやすい環境づくり

すぐに
取り組む
こと

〔個人の取組〕

- 地域の人に声をかけ、お互いに知り合い、あいさつできる町にします。

〔自治会町内会〕

- 若い人が参加しやすくなるよう、無理な活動はさせず批判もしないように配慮します。
- 防災活動やまつり等の行事は気楽に参加できるよう、従前にとらわれない楽しいアイデアを取り入れます。また、みんなが少しずつ参加できるよう役割分担を行います。
- 日曜・夜など活動に参加しやすい時間帯を活用します。
- 対象が特定されるイベントは個別に案内状を出したり、声かけをして参加を促します。
- 新たに住み始めた住民に自治会町内会の活動を理解してもらえるよう、PR資料（年間の行事スケジュール等）を配布します。
- 連合町内会で連携を図り、行事の同時開催など参加しやすくなるよう配慮します。
- 地域で自治会町内会とは別にサークル活動を始めたい人に、自治会町内会が活動場所をアドバイス（町内の企業体育館や町内会館など）することで密接な関係をつくり、自治会町内会活動への参加を呼びかけます。

すぐに
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 会議、情報・調査、訪問を通じて以下のとおり支援体制を整えます。
 - 会議：防犯、防災、福祉等について年5～6回人が集まりやすい夜間に会議を開催し、結果について各町会でチラシを作成して回覧します。
 - 情報・調査：災害時要援護者の把握は、個人情報に配慮しながらどの様に対応するかを検討し、必要性について理解を求め、各家庭に必要書類を配布し、該当者を記入してもらうようにします。
 - 訪問：町会在住者の現状を再把握、調査、確認書作成まで行い、自治会町内会の議題として定着させます。次に、状況に応じて月1回程度の訪問を行い、災害時の行動を繰り返し指導します。
- 敷地内を一時避難場所とさせてもらうなどの近隣企業との協力体制を維持・継続していきます。

〔ふれあい訪問員〕

- ふれあい訪問の機会を利用して、要援護者の状況把握を行います。

子安通1丁目地区では地区社会福祉協議会が中心となり「地域福祉活動計画(平成19年3月)」を策定し、「防災対策」「猫対策」「老後対策」の3つのテーマに基づいて地域の活動を行っています。



地域別懇談会の様子

入江地区

重点課題①：災害時要援護者の支援体制

すぐに
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 自治会町内会の全家庭の協力・参加を目標に、
 - 高齢者の名簿を作成していきます。（連合町内会で期限を決める。）
 - 連合町内会で防災座談会（仮称）を開きます。その中で、
 - （1）夜間等の災害に必要な物（クツ、ハシゴなど）の説明をします。
 - （2）災害時のイメージや対処法を伝えるための研修・訓練を行います。
 - （3）要援護者も情報を得ることができるようにします。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 地域内で防災協定に加わる企業を拡大します。
- 年1回程度、連合でイベントを企画し、その活動の中で、地域のために行動をしていく人を増やしていきます。
- 要援護者の名簿を作成して、担当者・近隣者への応援を依頼し、一時避難場所の確保や支援者側の組織をつくります。

重点課題②：活動の担い手不足

すぐに
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 夜間遅めの時間帯や休日など、参加しやすい・できる時間帯を設定し、活動を行っていきます。
- 担い手になりそうな人の参加を意識し、自治会町内会でソフトボール、カラオケなどの趣味グループと連携して、人間関係を広げていきます。また、小中学生に興味を持ってもらうように町会の行事を企画します。（秋のスポーツ大会、盆踊りなど）
- 団塊世代等の定年退職前後の人たちを意識し、声かけや回覧板などを通じて担い手を募集します。
- 親子のたまり場「すくすくかめっ子」等の若い世代の集まりで行事への参加を呼びかけます。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 役員募集のチラシ回覧など広報活動を行います。
- 自治会町内会が開催する行事に常に活動をお願いできるように、人間関係を良好に保ちます。
- ローテーションで活動に取り組み、特定の人に負担がかからないよう地域の中で計画をつくっていきます。

すぐに
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 幅広い年齢層が参加しやすいよう行事内容や時間帯を工夫します。
- 行事や活動の情報は回覧だけでなく、一人でも多く口コミで情報を発信します。
- 団塊世代の定年退職前後の人達をはじめとする新たな担い手を確保するために懇談会を開き、回覧板などを通じて担い手を募集します。
- 仕事で日中の活動ができない人のため、夜間など活動できる時間帯を考慮します。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- イベントに興味をもってもらうため、幼児、小学生にポスター等を描いてもらいます。

重点課題②：青少年のマナー教育・育成

すぐに
取り組む
こと

〔個人の取組〕

- 学校と連携を図り、授業参観などの学校行事に参加し、子どもの顔を覚え、声をかけられる子どもの数を増やします。
- 地域の子どもと接した時に声をかけ、地域においてもあいさつを習慣化していきます。
- 普段から意識して、子どもたちの見守りを行います。
- 悪いことをしている子どもに対し、大人がき然とした態度で真剣に注意します。

〔自治会町内会〕

- 他地域で成果のあった事例を参考にします。
- 各学校と地域が意見交換する機会を充実させ、親と子を交えた話し合いを行います。
- 子どもが参加しやすい行事、レクリエーション活動の立案実施を図るほか、子ども会への支援を自治会町内会として行います。



重点課題に対する区役所の取組

重点課題：「マンション・アパート住民と自治会町内会との交流の促進」 「活動に参加しやすい環境づくり」「活動の担い手不足」

【自治会町内会活動支援講座】

自治会町内会向けに広報PR資料の作成研修などの支援を行います。

【すくすくかめっ子事業】

地域の親子のたまり場「すくすく子がめ隊」の運営を支援します。

【ボランティア活動のきっかけづくり・情報の提供】

ボランティアを希望する人と必要とする団体等がつながるよう、講座や情報提供、関係機関との連携を行います。



重点課題：「災害時要援護者の支援体制」

【ふれあい訪問事業】

地域でのひとり暮らし高齢者等の見守りに、必要な情報提供や研修を行います。

【災害時要援護者対策支援事業】

地域と協働し、地域における災害時要援護者の支援体制づくりを行います。

重点課題：「青少年のマナー教育・育成」

【学校・家庭・地域連携事業】

中学校区で実行委員会を設置。学校と地域の連携を進めます。

【青少年指導員・体育指導委員・子ども会】

地域で活動する青少年育成関連団体が主催する各種事業に対し、支援を行います。

地域を支援するための新子安地域ケアプラザの取組

- 地域の行事・イベントなどに出向いて、高齢者支援に必要な情報提供を行います。
- 民生委員児童委員やボランティアグループ等、地域の関係機関と協力し、子育て中の地域の方が交流できる場所の提供と行事の企画を行います。
- 地域ケアプラザ主催の健康教室・ミニデイサービスを通して、支援を必要としている人の見守りを行います。
- 地域の防災訓練や防災フェアに参加し、地域防災の意識向上に協力します。
- 地域ボランティア団体の食事会などの支援を通じ、地域住民同士が交流する機会をつくります。
- 地域向け広報紙の発行や掲示板を活用し、地域活動や行事に参加しやすくなるよう、地域情報を提供します。
- ボランティアを必要としている方としたい方のニーズを把握し、ボランティア養成講座を開催します。
- 地域ケアプラザでボランティア活動をしている方や団体の交流会を実施し、活動団体相互の連携を図ります。
- 福祉保健の活動が、円滑に実施できるように場所・情報の提供を行います。
- 地域の男性が地域活動・交流するきっかけになる場の企画・提供を行います。
- 支えあいネットワークの事務局として、地域のネットワークづくりを支援します。